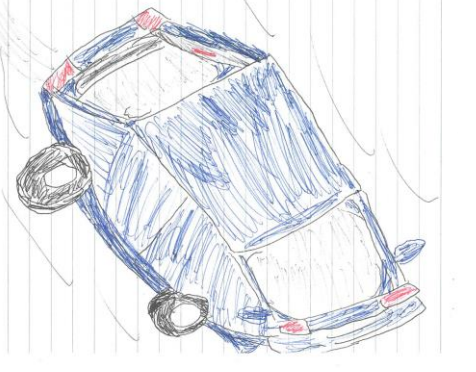


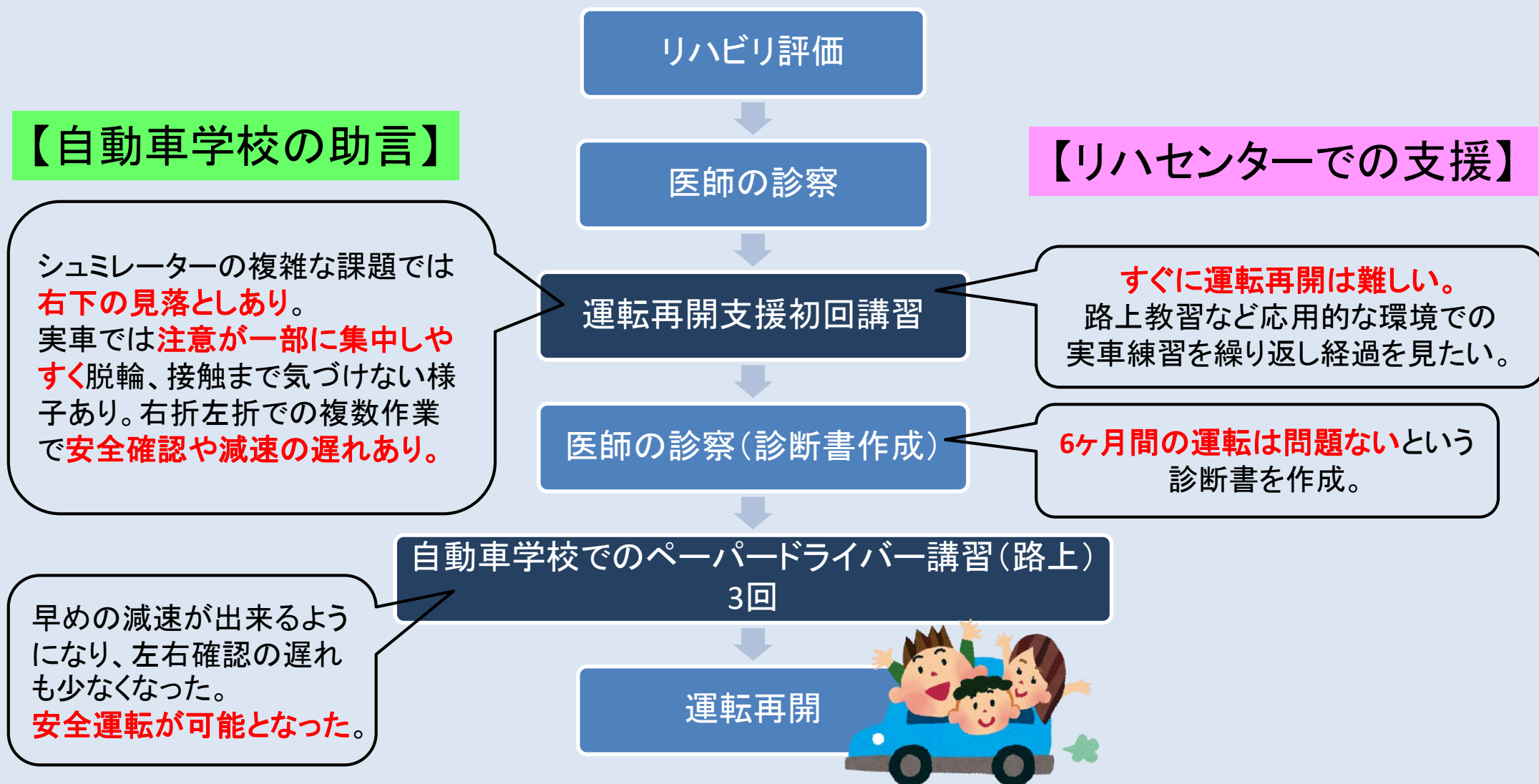
症例から考える当センターにおける自動車運転再開支援 高野友美(新潟県障害者リハビリテーションセンター)



【はじめに】

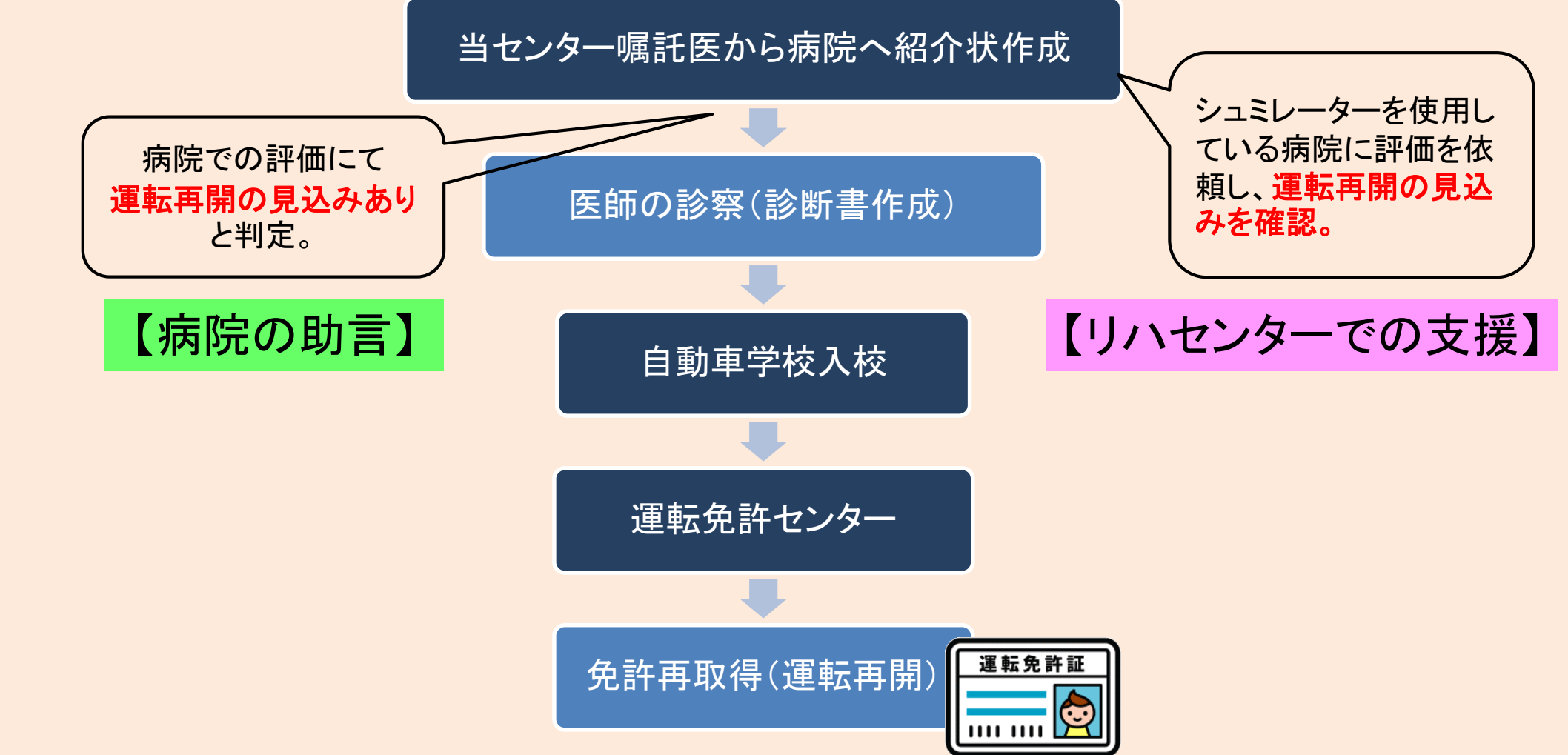
当センターでは年間10名程の利用者に対し、自動車運転再開支援を行なっている。若年の利用者が多く、運転再開を希望する利用者は年々増加傾向にある。しかし、当センターにはドライブシュミレーターはなく常勤のセラピストは理学療法士1名、作業療法士1名となっており、診療は嘱託医が週1回行なっている小規模で人員配置の少ない施設である。この環境の中でどのように支援を進めているか以下に述べる。

<A様 免許の有効期限が切れている方の支援>



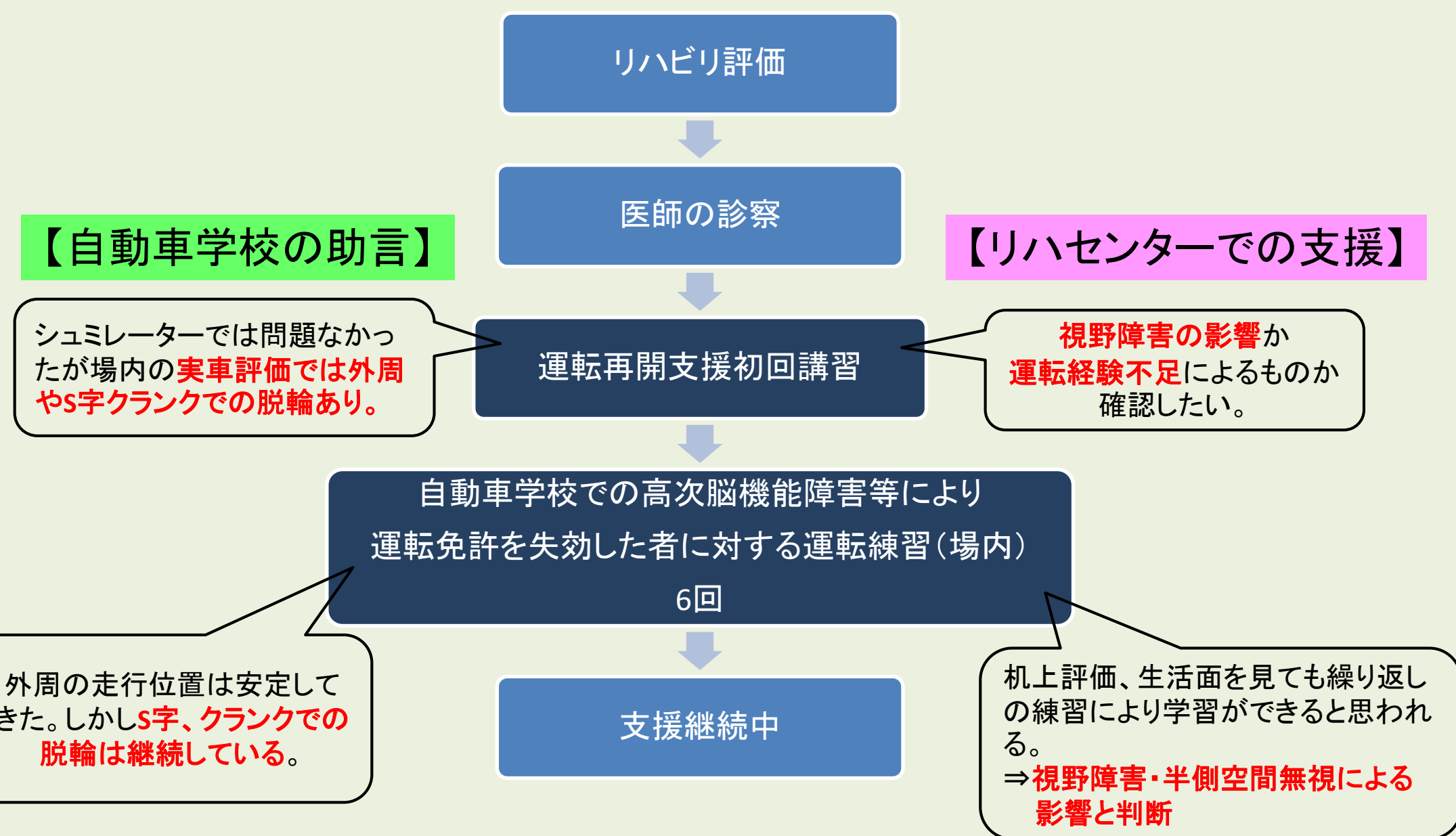
A様 40代後半男性	
疾患	左被殻出血(右片麻痺、軽度失語症、高次脳機能障害)
身体機能	Br.stage : 上肢Ⅳ 手指Ⅲ 下肢Ⅳ 表在・深部感覚: 中等度鈍麻
高次脳機能	TMT : PartA 48秒 PartB 173秒 かな拾いテスト(ヒット率): 84%(正32個・誤6個) Ray図形: 模写 36点 再生 21点 コース立方体テスト: 100点(IQ99) BADS : 21点(年齢補正した標準化得点112点) WAIS-R符号課題: 評価点8点
運転に関わる生活情報	自動車メーカーで支店長として勤務していた。運転経験は豊富で自信もある。

<B様 免許を返納した方の支援>



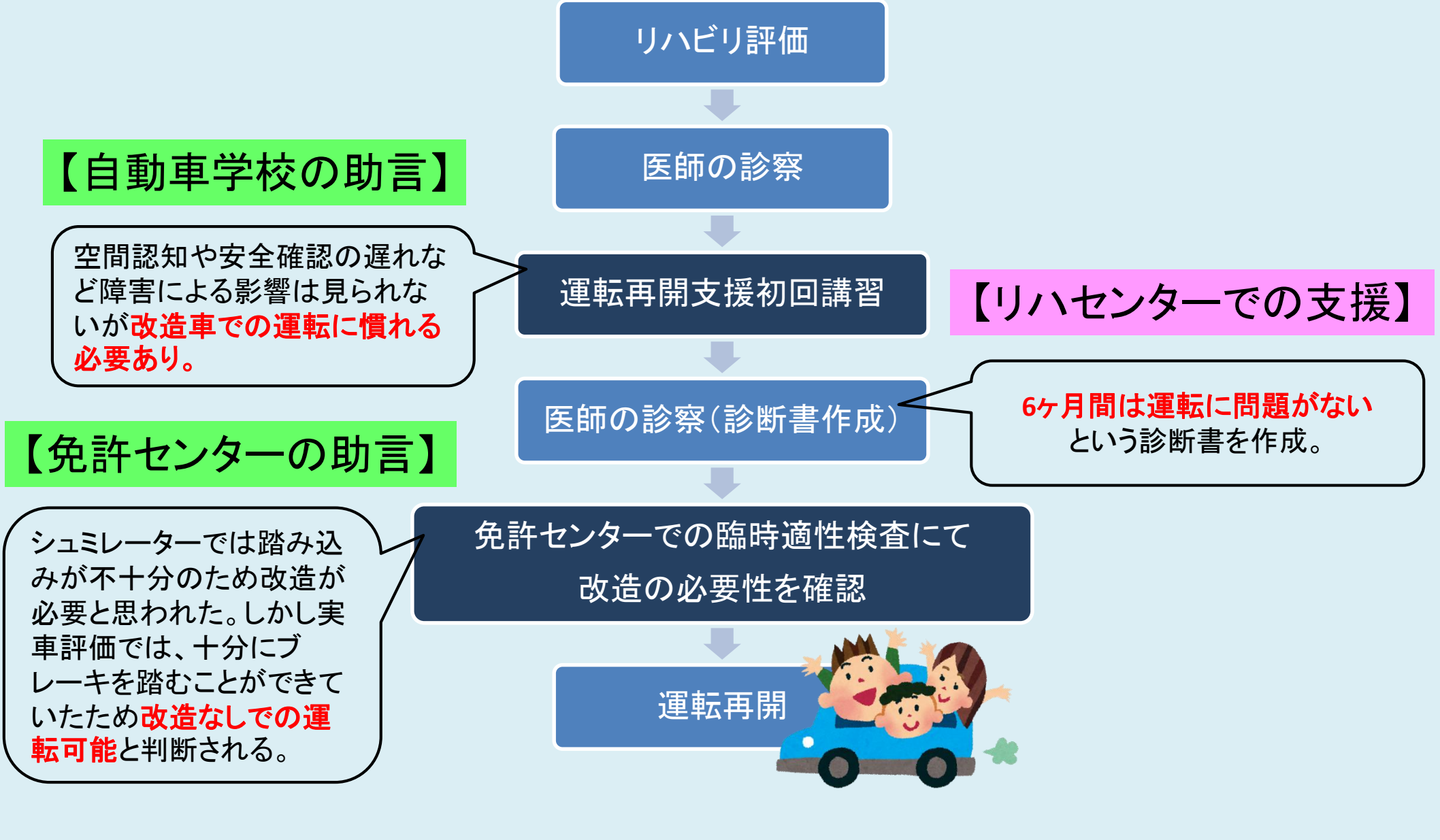
B様 40代後半男性	
疾患	脳出血(左片麻痺、高次脳機能障害)
身体機能	Br.stage : 上肢Ⅳ 手指Ⅴ 下肢Ⅳ 表在・深部感覚: 軽度鈍麻
高次脳機能	TMT : PartA 49.7秒 PartB 78.4秒 かな拾いテスト(ヒット率): 93%(正40個・誤3個) Ray図形: 模写 31点 再生 19点 コース立方体テスト: 27点(IQ64) BADS : 19点(年齢補正した標準化得点102点) WAIS-R符号課題: 評価点7点
運転に関わる生活情報	トラック運転の就労経験あり。運転は難しいと言われこの先も出来ないと思い免許自主返納。ご本人、ご家族に運転するためには自動車学校へ入校し再取得が必要となり費用は自己負担となること、自動車学校に入校しても障害の影響で再取得が出来ない可能性もあることを説明し、同意が得られたため支援を進めることとなる。

<C様 視野障害・左半側空間無視の方の支援>



C様 20代後半男性	
疾患	心原性脳梗塞(左片麻痺、高次脳機能障害)、動眼神経麻痺
身体機能	Br.stage : 上肢Ⅲ 手指Ⅱ 下肢Ⅲ 表在・深部感覚: 重度鈍麻
高次脳機能	TMT : PartA: 42秒 PartB: 79.9秒 かな拾いテスト(ヒット率): 89%(正50個・誤6個) Ray図形: 模写 29.5点 再生 18.5点 コース立方体テスト: 105点(IQ102) BADS : 22点(年齢補正した標準化得点118点) WAIS-R符号課題: 評価点17点
運転に関わる生活情報	東京で一人暮らしをしながら調理師として就労している時に発症し、新潟に帰省することになった。そのため運転経験は乏しい。

<D様 免許センターで改造の有無を検討した方の支援>



D様 50代後半男性	
疾患	脳梗塞(右片麻痺、高次脳機能障害)
身体機能	Br.stage : 上肢Ⅳ 手指Ⅴ 下肢Ⅴ 表在・深部感覚: 軽度鈍麻
高次脳機能	TMT : PartA: 50.4秒 PartB: 83.4秒 かな拾いテスト(ヒット率): 65%(正28個・誤15個) Ray図形: 模写 33点 再生 28点 コース立方体テスト: 46点(IQ74) BADS : 18点(年齢補正した標準化得点98点) WAIS-R符号課題: 評価点11点
運転に関わる生活情報	施工管理の仕事に従事しており、現場までは会社の車で向かっていた。同じ業種での新規就労を目指しているため、会社の車が運転できるよう改造の条件なしで運転再開したいという希望あり。

【まとめ】

当センターのようにドライブシュミレーターがなく、小規模な施設での自動車運転再開支援には他機関との連携が必須となる。自動車運転再開の判断は机上の検査だけでは難しい。また実践的な訓練を継続することで運転再開につながるケースもある。他機関と情報共有し、お互いの役割を果たしながら支援を進める必要がある。